

資料④

**笠松町**  
**第5次総合計画策定にかかる**  
**住民・中生意識調査**

**【結果報告書】**

**平成21年12月**  
**岐阜県 笠松町**

# I 調査の概要

# 1 調査の目的

---

平成 21～22 年度に「笠松町第 5 次総合計画（平成 23 年度～平成 32 年度）」を策定するにあたり、町の進むべき方向性について住民の考えを聞き、住民の意見をまちづくりに活かすために「住民意識調査」、「中学生意識調査」を実施しました。

## 2 調査概要

---

### 「住民意識調査」

調査地域 : 笠松町全域  
調査対象者 : 笠松町在住の住民（無作為抽出）  
調査期間 : 平成 21 年 10 月 1 日～平成 21 年 10 月 16 日まで  
調査方法 : 郵送配布、郵送回収  
回収率 : 51.1%（配布数：2,000、回収数 1,022）

### 「中学生意識調査」

調査地域 : 笠松町全域  
調査対象者 : 笠松町在住の中学 3 年生（全数）  
調査期間 : 平成 21 年 11 月 3 日  
調査方法 : 直接配布、直接回収  
回収率 : 100%（配布数：184、回収数 184）

### 3 報告書の見方

---

●各設問の回答方法は、単数回答、複数回答、自由回答の3種類があります。

単数回答…設問に対して、複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式

複数回答…設問に対して、複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式

自由回答…設問に対して、自由に記入する方式

●回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

●複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

●図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

●図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数を表しています。

## 4 調査票の設問事項

実施した調査事項は次のようになっています。

### 住民意識調査

区分	調査内容		番号
調査対象者の属性	・性別	・職業	
	・年代	・住まいの形態	
	・居住地域	・居住年数	
	・家族構成		
笠松町での居住 について	・今後の定住意向		
	・暮らしやすさ		
町の行政施策の満足度 と重要度について	保健 ・医療 ・福祉	・健康づくりの推進	1
		・母子保健の推進	2
		・医療体制の整備	3
		・障がい者福祉の推進	4
		・介護・高齢者福祉の推進	5
		・子育て支援の推進	6
	教育 ・文化	・学校教育の充実	7
		・生涯学習の充実	8
		・歴史・文化の継承と活用	9
		・スポーツ活動の推進	10
	環境 ・経済	・環境保全	11
		・ごみの減量、省エネ、リサイクル対策	12
		・農業の振興	13
		・商工業の振興	14
		・観光の振興	15
		・交通安全の推進	16
	建設 ・水道	・住宅地の整備	17
		・良好な景観の形成	18
		・道路の整備	19
		・公園の整備	20
		・河川の整備	21
		・下水道の整備	22
		・上水道の安定供給	23

町の行政施策の満足度 と重要度について	住民生活	・男女共同参画の推進	24
		・防災対策	25
		・消防・救急体制の整備	26
		・防犯体制の整備	27
		・交通網の整備	28
	町政運営	・町の情報の発信	29
		・町政への住民意見の反映	30
		・健全な行財政運営	31
		・窓口対応	32
将来像のキーワード	・笠松町がめざしていくべき将来像		
協働のまちづくり について	・地域活動に参加しているか		
	・参加したことのある地域活動は何か		
	・住民ができること、やるべきことは何だと思うか		
	・住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思うか		
	・住民と行政が協働してまちづくりを行う上で必要だと思うこと		
笠松町の誇れるもの、 残したいものについて	・誇れるもの、残したいもの		
道徳のまちづくり について	・町で推進している「道徳のまちづくり」に関心があるか		
	・住まいの地域において町民同士のつながりは強いと感じるか		
	・近所の方とどんな程度のつきあいをしているか		
	・近所の方とつきあっている人の数はどれくらいか		
	・日頃つきあっている親戚の人の数はどれくらいか		
	・問題や心配ごとがある時、相談したり頼ったりできる人やところはどこか		
	・「自分のことだけでなく他人のことも考える人」が多いと思うか		

## 中学生意識調査

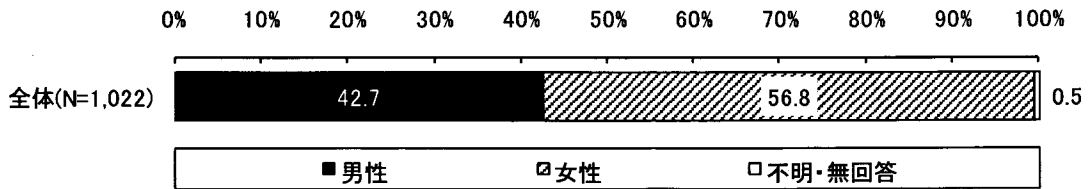
区分	調査内容
調査対象者の属性	・性別 ・居住地域
笠松町での生活 について	・暮らしやすさ
	・今後の定住意向
	・笠松町で良いと感じる点
	・笠松町で悪いと感じる点
協働のまちづくり について	・地域活動に参加しているか
	・参加したことのある地域活動は何か
	・自分たちができること、やるべきことは何だと思うか
これからの笠松町 について	・笠松町がめざしていくべき将来像
	・今後、笠松町が特に大切にすべきことは何だと思うか
	・誇れるもの、残したいもの

## II 調査対象者の属性

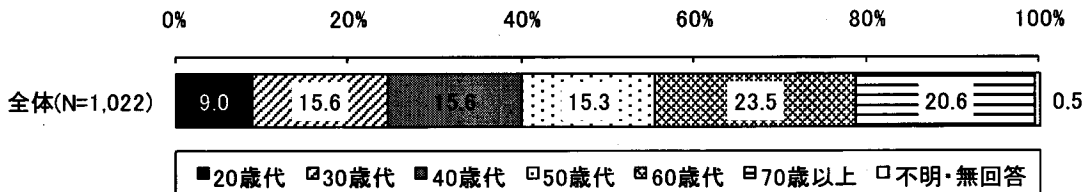


# 1 住民意識調査

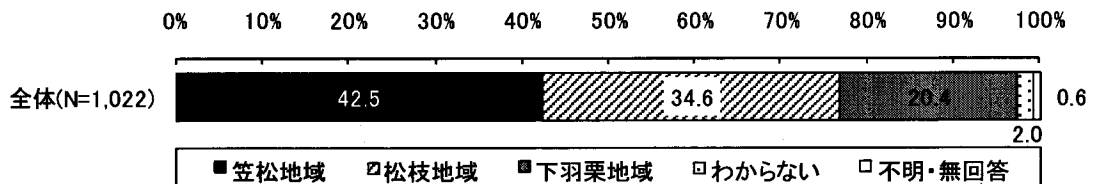
## 性別



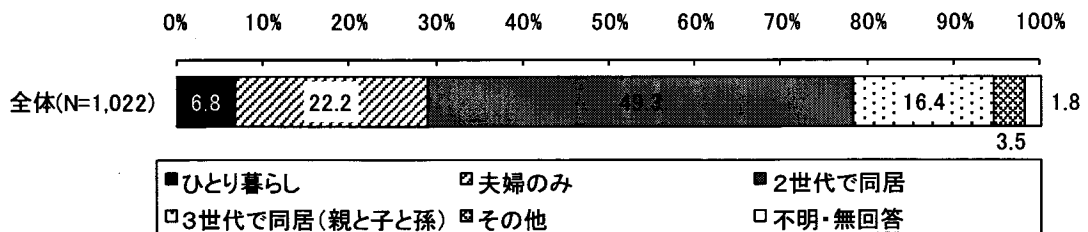
## 年代



## 居住地域

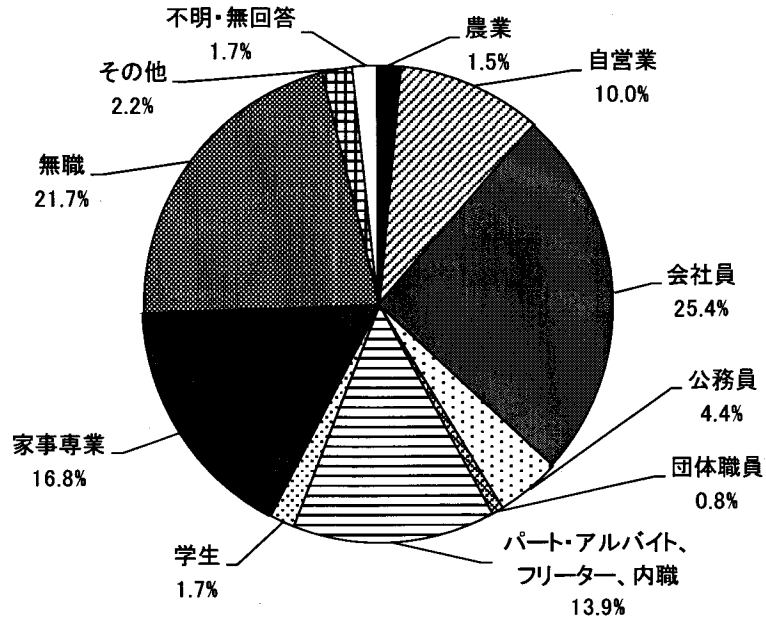


## 家族構成

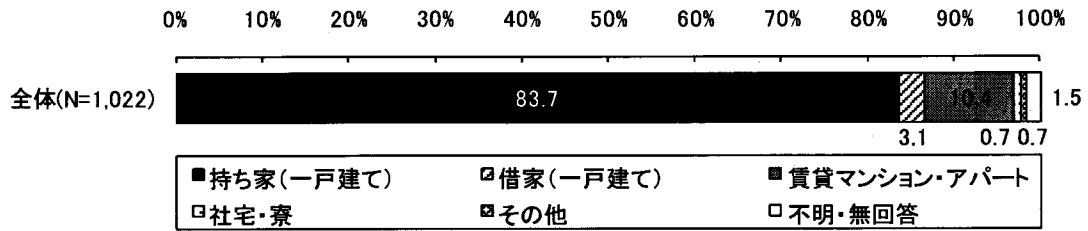


**職業**

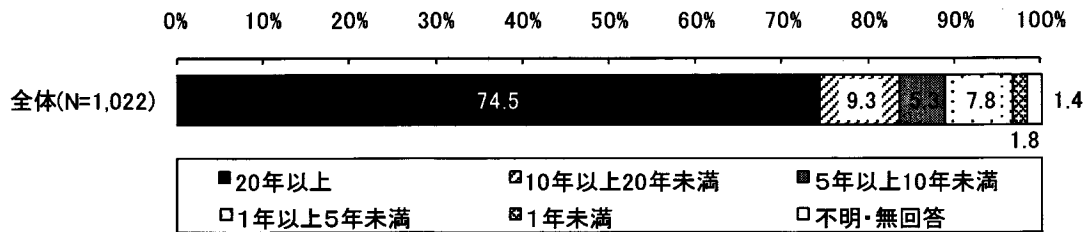
全体(N=1,022)



**住まいの形態**

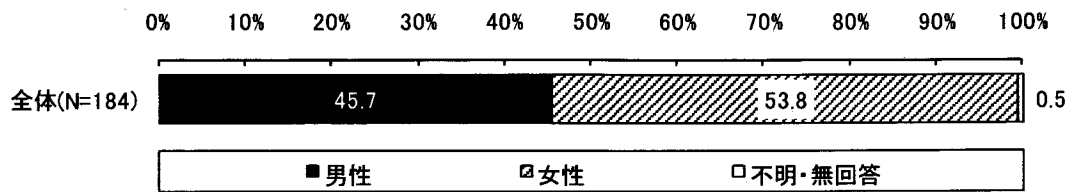


**居住年数**

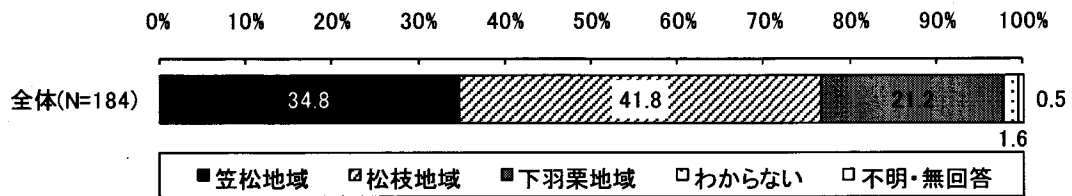


## 2 中学生意識調査

### 性別



### 居住地域



### **Ⅲ 共通設問の調査結果**

# 1 笠松町の将来像について

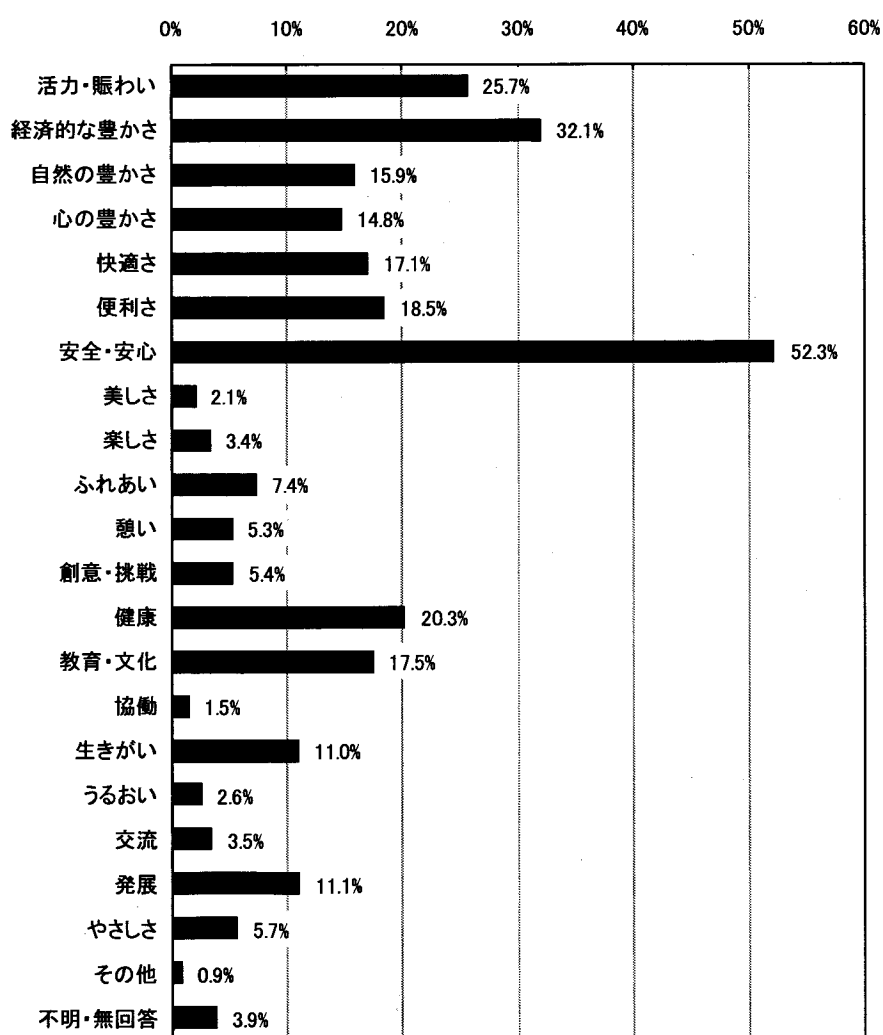
今後、笠松町がめざしていきべき将来像を表すキーワードとして、ふさわしいと感じるものについてお聞きしました。

【一般住民】

(複数回答)

「安全・安心」が最も多く、52.3%となっています。次に「経済的な豊かさ」が32.1%、「活力・賑わい」が25.7%となっています。

全体(N=1,022)

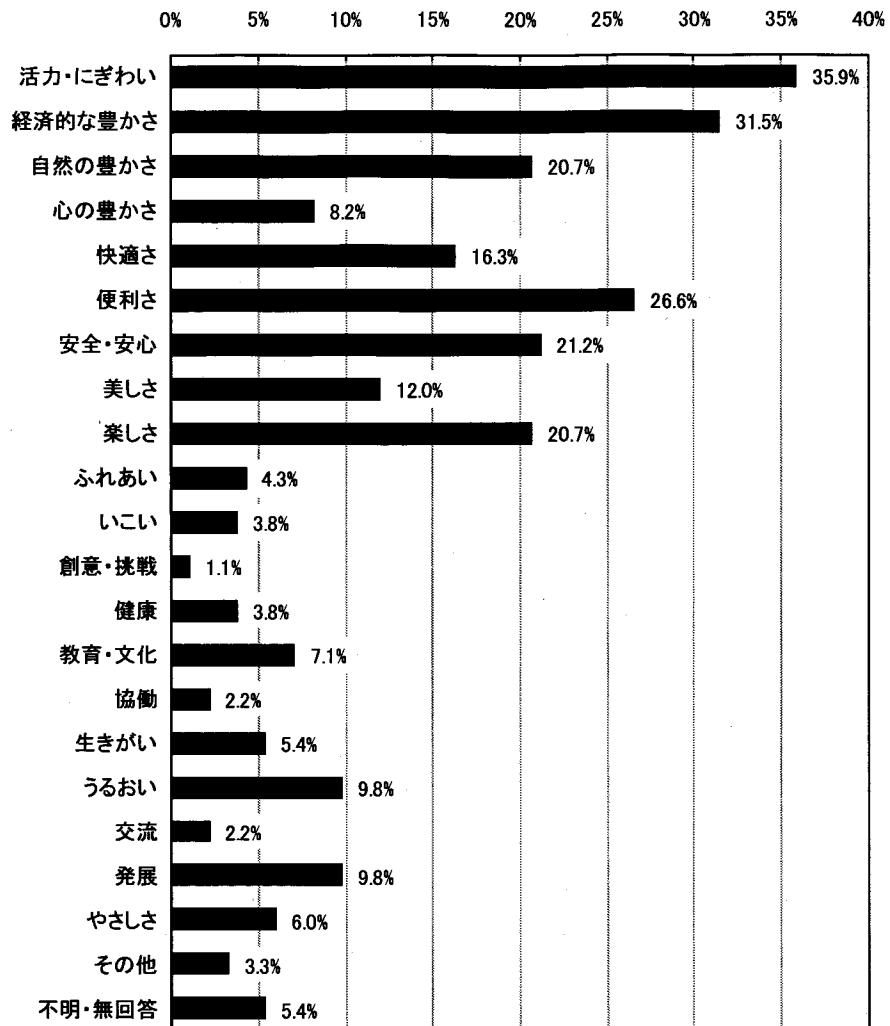


【中学生】

(複数回答)

「活力・にぎわい」が最も多く、35.9%となっています。次に「経済的な豊かさ」が31.5%、「便利さ」が26.6%となっています。

全体(N=184)



## 2 笠松町での居住について

今後、笠松町に住み続けたいと思うか、笠松町が暮らしやすいまちだと思うか、についてお聞きしました。

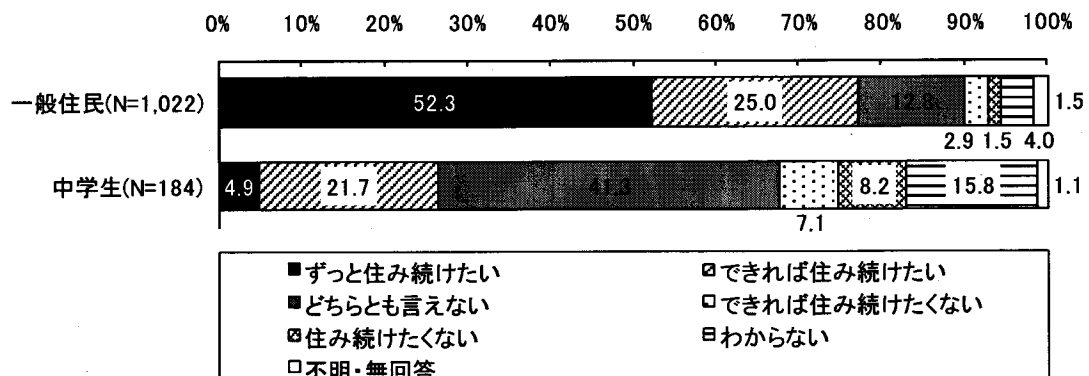
### (1) 今後も笠松町に住み続けたいと思いますか

【一般住民・中学生】

(単数回答)

一般住民では「ずっと住み続けたい」が最も多く 52.3%となっています。次に「できれば住み続けたい」が 25.0%となっており、「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を足した定住意向の回答が 77.3%となっています。

中学生では「どちらとも言えない」が最も多く 41.3%となっています。次に「できれば住み続けたい」が 21.7%となっています。定住意向の回答は 26.6%となっています。



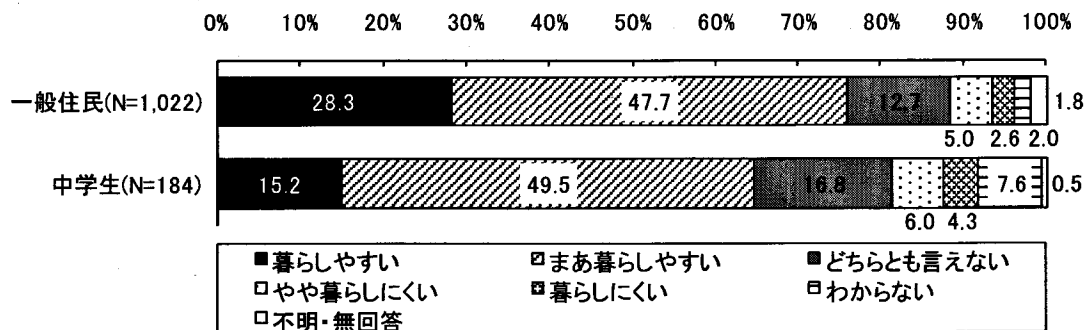
## (2) 笠松町を暮らしやすいまちだと思いますか

【一般住民・中学生】

(単数回答)

一般住民では「まあ暮らしやすい」が最も多く、47.7%となっています。次に「暮らしやすい」が28.3%となっており、「暮らしやすい」と「まあ暮らしやすい」を足した肯定的な回答が76.0%となっています。

中学生では「まあ暮らしやすい」が最も多く、49.5%となっています。次に「どちらとも言えない」が16.8%となっています。肯定的な回答は64.7%となっています。





### 3 施策の満足度と重要度について

町の行政施策について、それぞれの取り組みごとに「現況（満足度）」と「今後の重要度」に関してどう考えているかお聞きしました。

全 32 項目について、満足度、重要度ともに 5 段階評価での回答を得ました。

- (1) 現在の行政施策についての満足度（単数回答）
- (2) 今後の行政施策についての重要度（単数回答）
- ・・・ 回答の単純集計を設問項目順に並べてあります。
- (3) ポートフォリオ
- ・・・ ①、②では下記の方法で回答を点数化し、項目の点数順に並べてあります。

#### 【点数化の方法】

満足度		重要度	
思う	+2点	重要である	+2点
やや思う	+1点	やや重要である	+1点
どちらとも言えない	0点	どちらとも言えない	0点
あまり思わない	-1点	あまり重要ではない	-1点
思わない	-2点	重要ではない	-2点
わからない	0点		

上記の点数に回答者数の割合を乗じ、それぞれの項目の点数とします。

(例)

満足度	思う	やや思う	どちらとも言えない	あまり思わない	思わない	わからない
健康づくりの推進	15.7	26.9	24.1	10.7	6.6	12.2

$$\begin{aligned} \text{点数} &= 2 \times 15.7\% + 1 \times 26.9\% + (-1) \times 10.7\% + (-2) \times 6.6\% \\ &= 0.344 \div 0.34 \text{ (小数点以下第3位で四捨五入)} \end{aligned}$$

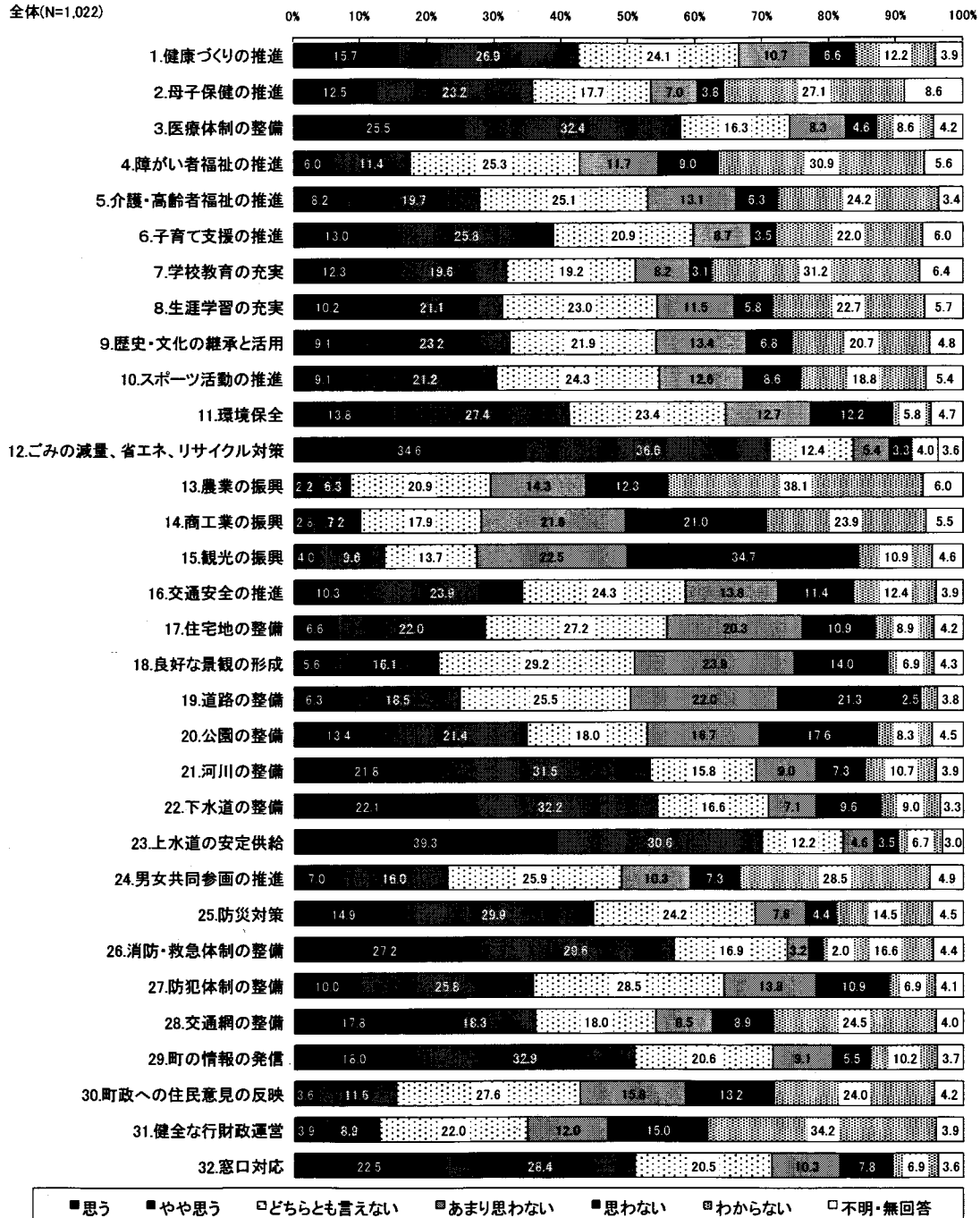
満足度、重要度ともに単純集計と点数化後で順位が変わることがあります。

# (1) 現在の行政施策の満足度

【一般住民】

(単数回答)

満足度の高い項目は「ごみの減量、省エネ、リサイクル対策」や「上水道の安定供給」などとなっています。一方、満足度の低い項目は「観光の振興」や「道路の整備」となっています。

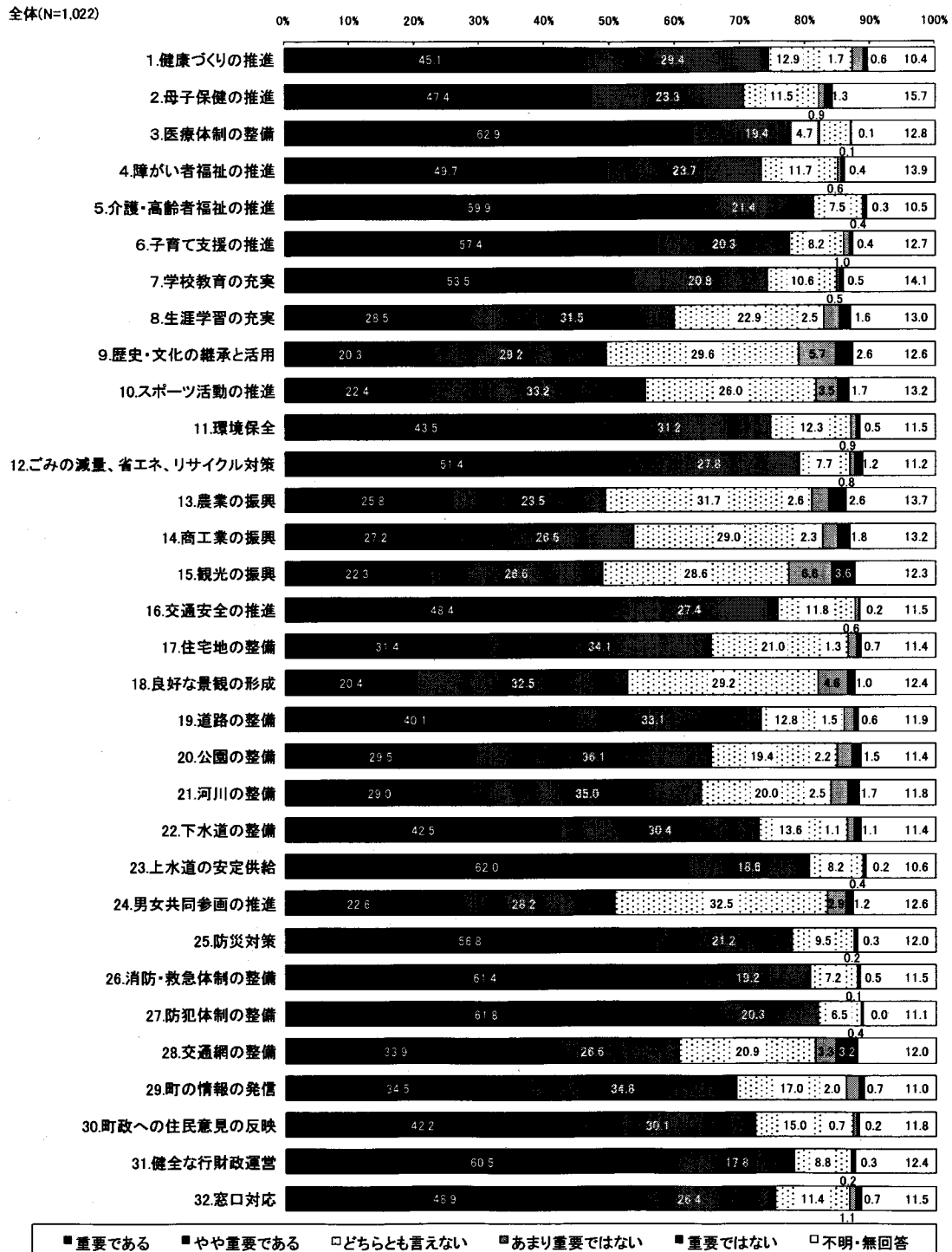


## (2) 行政施策の重要度

【一般住民】

(単数回答)

全体的に重要度が高い回答となっています。特に「医療体制の整備」や「防犯体制の整備」が高くなっています。



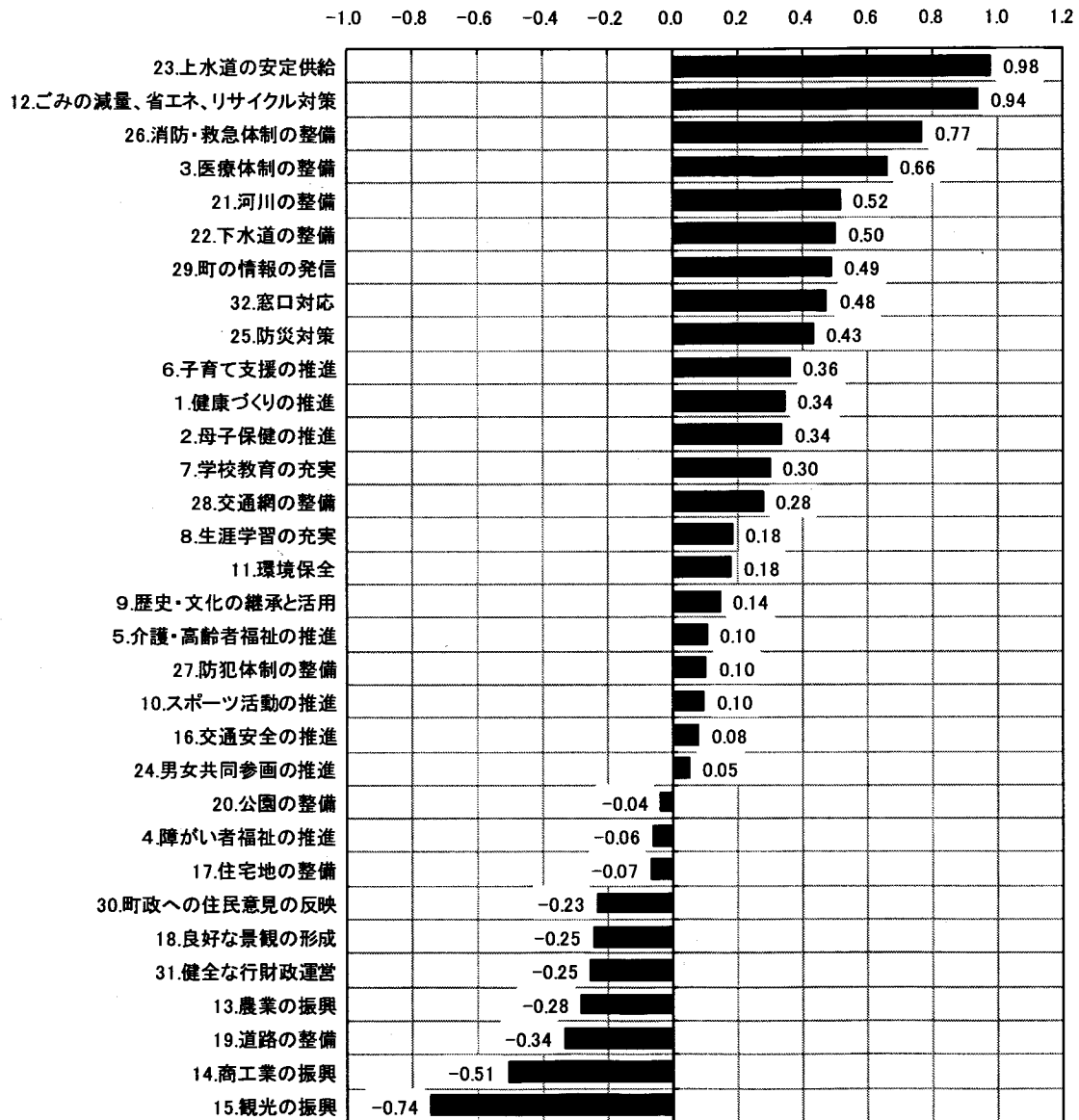
### (3) ポートフォリオ

#### ①行政施策の満足度

##### 【一般住民】

満足度の高い項目は「上水道の安定供給」や「ごみの減量、省エネ、リサイクル対策」などで、満足度の低い項目は「観光の振興」や「商工業の振興」などとなっています。

点数化の方法については、P.16をご覧ください。

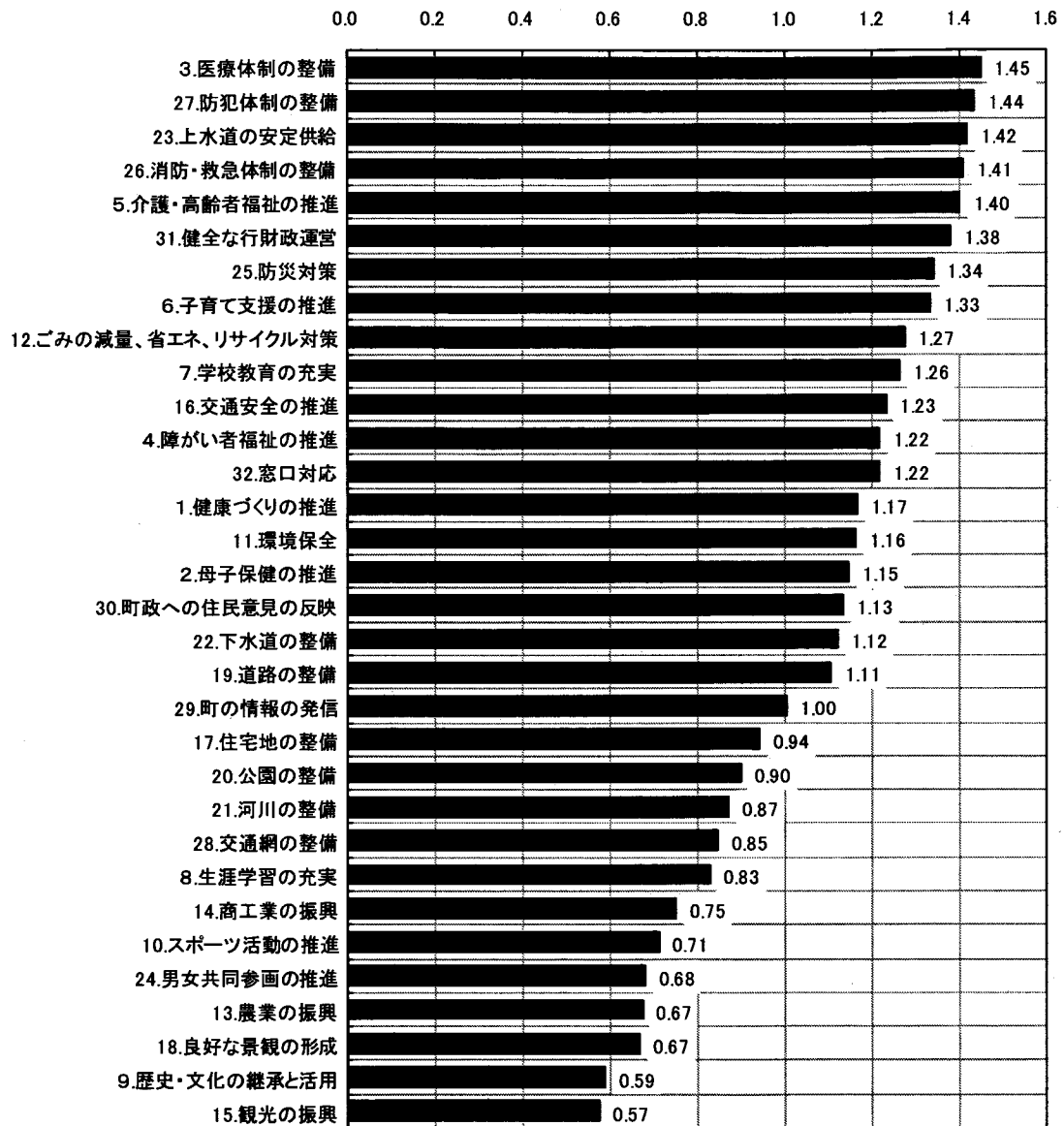


## ②行政施策の重要度

### 【一般住民】

重要度の高い項目は「医療体制の整備」や「防犯体制の整備」などで、重要度の低い項目は「観光の振興」や「歴史・文化の継承と活用」などとなっています。

点数化の方法については、P.16をご覧ください。



### ③満足度と重要度の相関関係

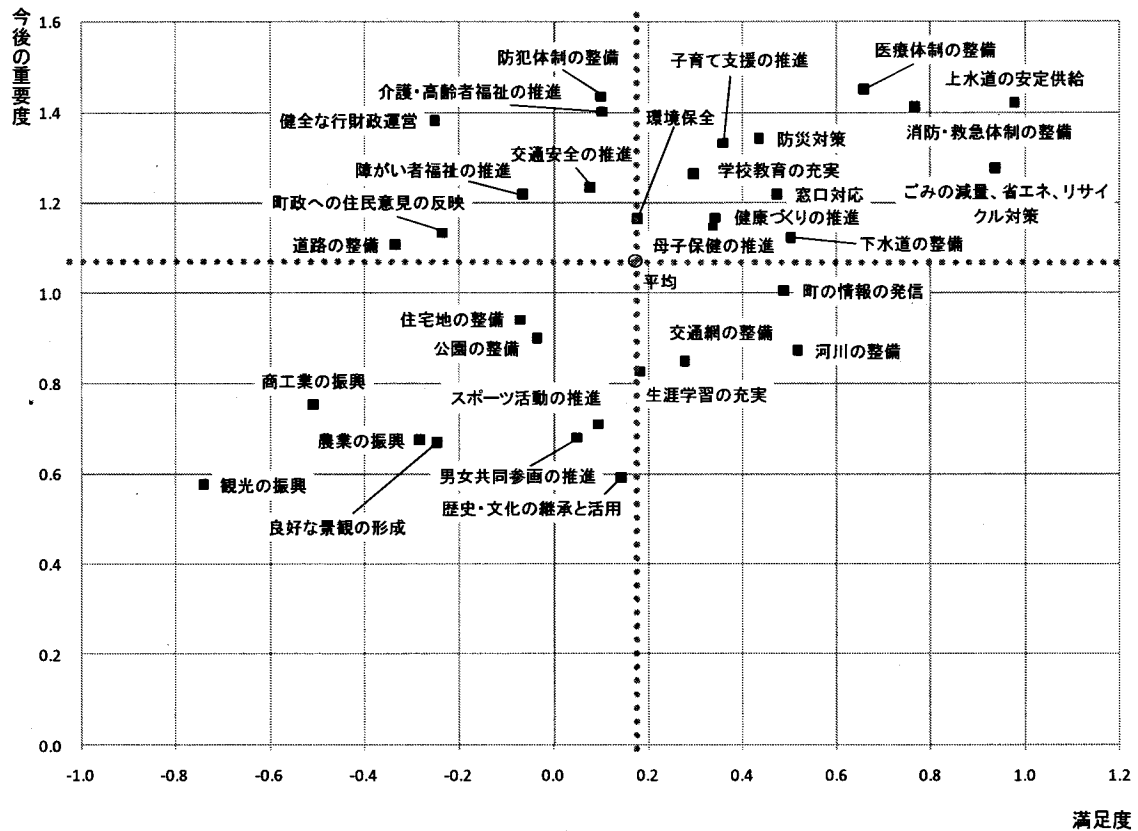
#### 【一般住民】

満足度が高い項目ほど、重要度も高い傾向にあります。

満足度、重要度ともに高いものは「上水道の安定供給」や「消防・救急体制の整備」などとなっています。一方、「観光の振興」や「商工業の振興」などは満足度、重要度ともに低くなっています。

「防犯体制の整備」や「健全な行財政運営」などは満足度が低く、重要度が高くなっているため、今後の施策での対応が急務であるといえます。

点数化の方法については、P.16をご覧ください。

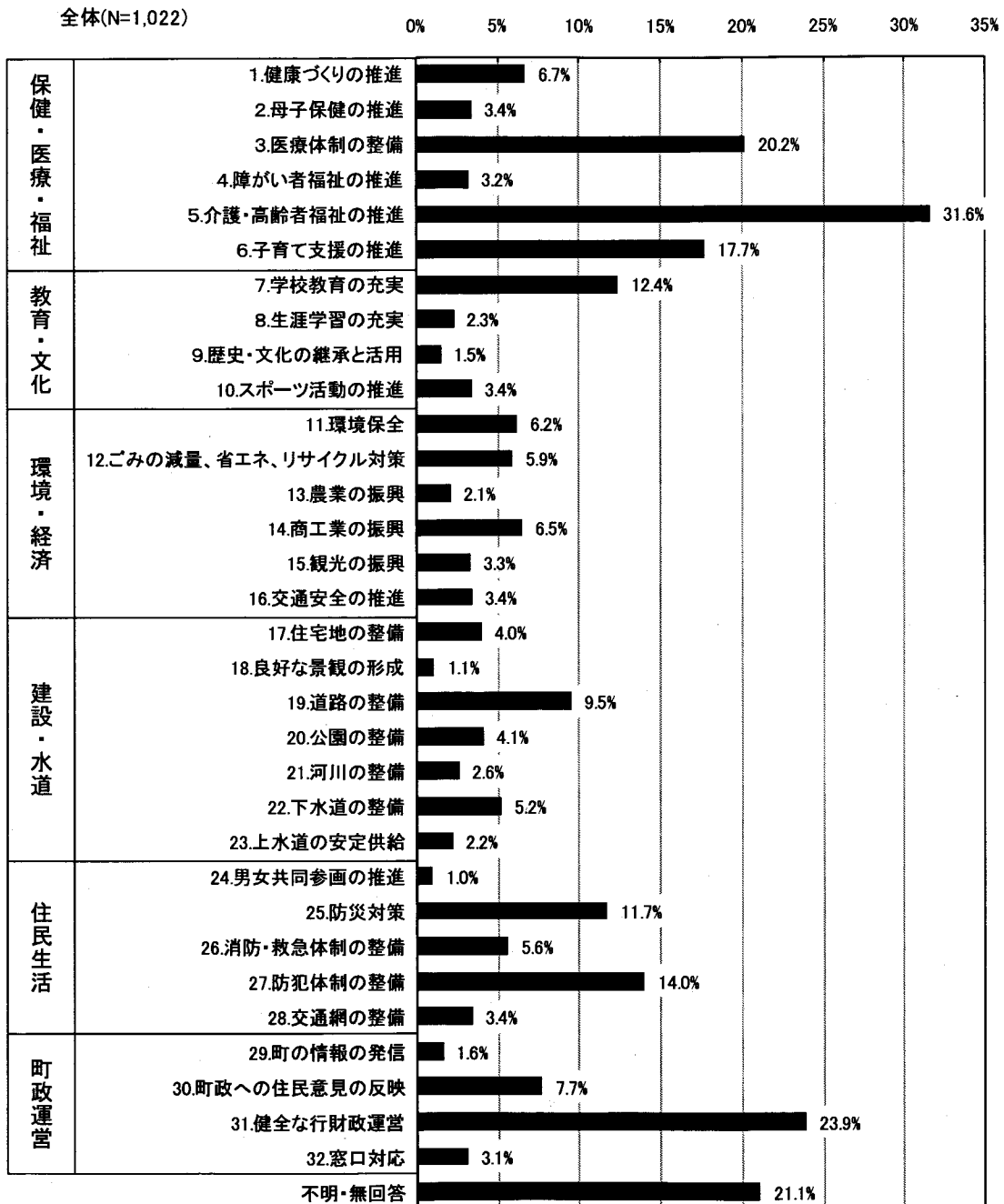


(4) 重点的に取り組むべきだと思ふ施策は何ですか

【一般住民】

(複数回答)

「介護・高齢者福祉の推進」が31.6%と最も多くなっています。次に「健全な行財政運営」や「医療体制の整備」が20%を超えています。



## 4 協働のまちづくりについて

今後の笠松町を運営していくにあたり、住民の手による町内会活動やボランティア活動など、地域活動が重要性を増しています。

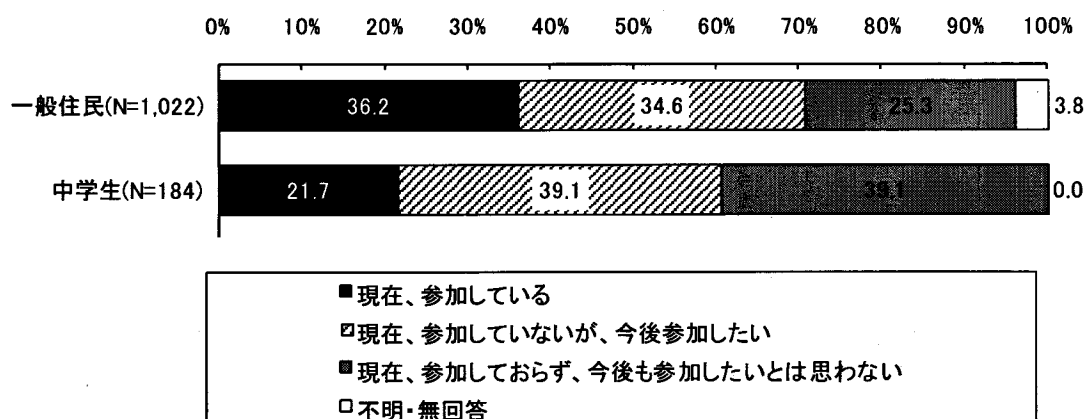
地域活動への参加経験や、住民と行政の協働するまちづくりについてお聞きしました。

### (1) 地域活動（町内会活動やボランティア活動など）に参加していますか 【一般住民・中学生】 (単数回答)

一般住民では「現在、参加している」が36.2%と最も多くなっています。

中学生では「現在、参加していないが、今後参加したい」、「現在、参加しておらず、今後も参加したいとは思わない」がともに39.1%となっています。

今後も地域活動で活躍する町民が増えると考えられます。



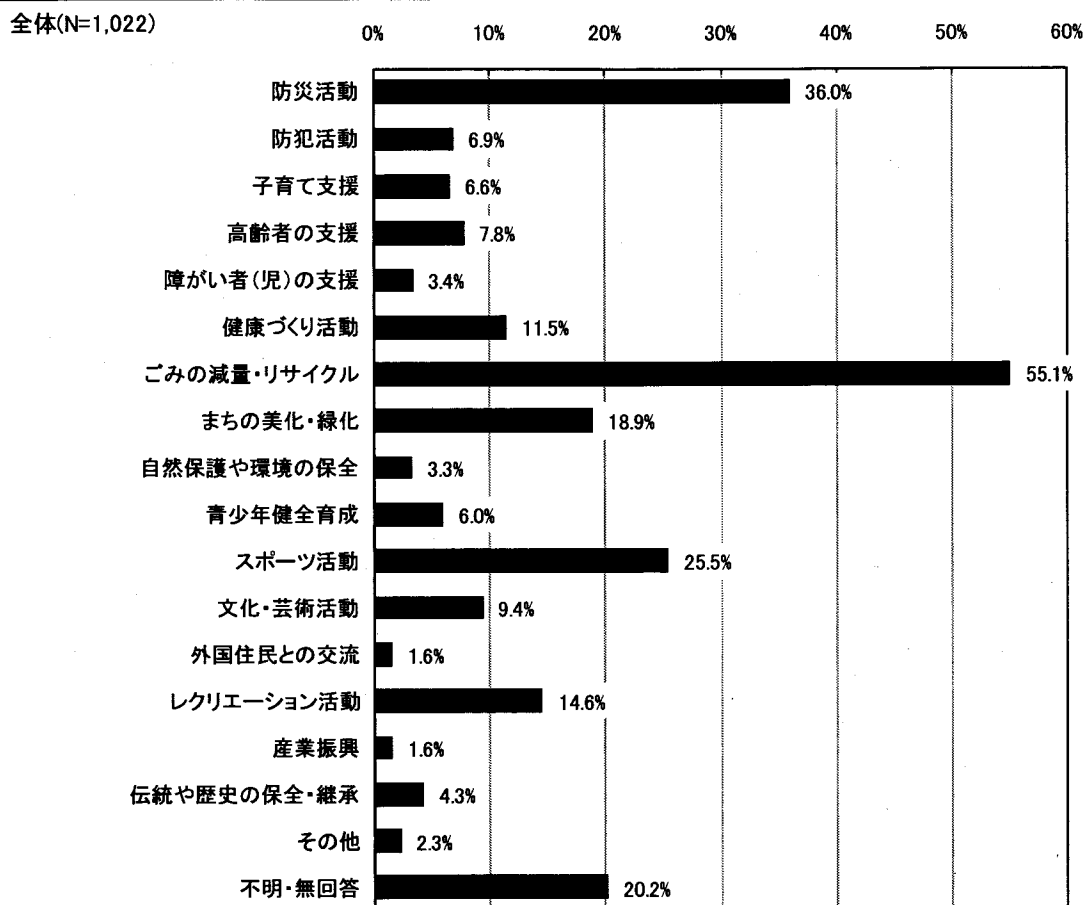


## (2) 参加したことのあつる地域活動は何ですか

【一般住民】

(複数回答)

「ごみの減量・リサイクル」が最も多く 55.1%となっています。次に「防災活動」が 36.0%と多くなつています。



【中学生】

(複数回答)

「ごみを減らす・リサイクルする活動」が最も多く、44.6%となっています。次に「スポーツ活動」が19.0%となっています。

